

新治小学校だより



ひびく心 はずむ体 見つめる目

～新治のよさを持続して生かしながら、
よりよい社会を創ろうとする子どもを育む学校を目指して～

令和6年度

4月号

令和6年4月8日



新治小学校の目標達成シート（マンダラチャート）

校長 川島 広子

新治小学校の正門を入ると昨年度の1年生と環境美化委員が植えたチューリップが競うように色とりどりの花を咲かせています。校内の桜の花も満開となり、新治小学校は春本番となりました。

新治小学校保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。令和6年度は、新入生43名を迎え、全校児童226名でスタートしました。

先週、新6年生が新年度準備のために一足早く登校しました。新年度準備は作業内容が多くとても大変で、「今までの6年生はこんなに大変な仕事をしてくれていたんだ…。」とつぶやく子もいました。終了後「僕たちがきれいに準備したことで、1年生が喜んでくれると思うと嬉しい。」「この後も先生方は準備を続けるのかと思うと先生って大変だと思います。」という感想がありました。

さて、ロサンゼルス・ドジャーズの大谷翔平選手が、高校時代に自分の夢の実現のために書いた、目標達成シート（マンダラチャート）は、多くの方が目にしたことがあると思います。昨年度の朝会でも、大谷翔平選手が「運」を呼ぶための行動として、挨拶を心がけたり試合中にごみ拾いをしたりすることを子どもたちに話しました。このマンダラチャートを使って、新治小学校の学校教育目標をどのような教育活動で実現させていくのか整理してみました。

新治小学校の6年間の教育のゴールは「社会の中で子どもたちが幸せに生きる力を育てる」ということです。そしてそれを実現するために教育課程を通して身に付けさせる資質能力は、①「自分で判断する力」②「言語能力・コミュニケーション力」③「自他を大切に、社会とかがわる力」の3つです。私自身この3つの資質能力を育むことは、学校教育の中で最も大切なことだと感じています。これに、令和5年度の保護者学校評価アンケートで一番の課題となっていた「学力の向上」と学校経営方針の重点課題「地域連携」「健康教育」「ICT活用能力」「豊かな心」の4つを加え、これら9つの資質能力を育てるための具体的な教育活動を明確化し、「新治小学校目標達成シート」としました。

例えば、マンダラチャートのひとつ「自他を大切に、社会とかがわる力」とは、自己有用感を醸成し社会性の基礎を育むことです。子どもは仲間とのかかわりを通して、人とかがわることは苦痛ではなく楽しいことだと学びます。そして、社会の中で自分から周りに働きかけができたり、誰かの役に立ったりすることを誇りに思うようになります。自己有用感が低い子どもは、社会参加にも消極的になりがちです。この自己有用感は小学生の時に身に付きやすく、特に異学年交流などで育まれることは、現行の学習指導要領にも書かれています。冒頭紹介した、新6年生のエピソードは、正にこの自己有用感を感じた瞬間だったと思います。

新6年生がこれまでの教育活動の中で確実に「自他を大切に、社会とかがわる力」を身に付けていることを嬉しく思うと同時に、この1年間でさらに成長した姿を見せて欲しいと思います。今年も新治小学校の教育課程を通して、3つの資質能力を育てていきます。

最後になりますが、学校教育目標の達成には、地域・家庭・学校が同じゴールに向かい、ベクトルを合わせていくことが大切だと考えます。ぜひ、今年度も地域と保護者の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



地域連携力 →わくわくの時間 (野菜作り、米作り、森の活動)	自他を大切に、社会とかがわる力 →異学年交流(新治ラリー、たてわり学習)	ICT活用能力 →端末持ち帰り、プログラミング教育
判断力 →判断機会の提供、異学年交流等	社会の中で子どもたちが幸せに生きる力を育てる	言語能力、コミュニケーション力 →挨拶運動、読書活動、読み聞かせ
基礎体力 →なわフェス、授業、行事	学力 →習熟度別、AIデザインドリル、主体的な学び	人間力(豊かな心) →人権週間、道徳、行事、朝会

【新治小学校教育目標達成シート（マンダラチャート）】